

体罰防止プラン（令和7年度）

「体罰ゼロ」を推進するための8つのプラン

東大和市立第四中学校

本校では、体罰及び不適切な指導を行わないために「人権教育プログラム（学校教育編）」を活用して、以下の観点に基づく指導を推進する。

観点 「標準服自由化への取組」

- 1 人権教育の推進と、教職員の意識向上
- 2 組織的な教職員への研修による指導力の向上と連携・協力体制の確立
- 3 生活指導方針の共通理解と共通実践
- 4 生徒との信頼関係の構築と保護者及び地域との連携
- 5 各教科等及び教育活動全般における人権教育の推進

	指 導 項 目	指 導 内 容	指 導 時 期
1	人権教育の推進と 体罰防止研修	教職員対象校内研修会 ①「人権教育プログラム」の活用 ②服務事故防止研修 ③児童虐待防止研修 ④人権週間 ⑤「いじめに関する校内研修ツール」	①4月（準備出勤時） ②7月 12月 3月 ③11月 ④12月 ⑤2月
2	いじめ実態調査	①「四中人権宣言」を全学級で読み合わせ、人権を啓発。 ②生徒及び保護者対象に「ふれあいアンケート」をFormsで実施	①4月の初め ②各学期に1回
3	体罰等の処分公表資料 の周知徹底	処分公表資料を校長が読み上げる。	職員会議時（月1回水曜日）
4	企画調整会議での分 掌・学年主任への研修 と情報交換	生徒指導の方法や内容に関する管理職 からの指導と情報の共有	毎週1回
5	生活指導部会での情報 交換と点検	生徒指導に関する指導内容の点検と情 報交換	毎週1回
6	各教科等における人権 教育	指導者の人権感覚を向上させることに よって体罰を防止する	各教科授業時間
7	生活指導の共通理解	生徒理解研修による個々の生徒の配慮 事項の把握	年度当初研修会 各学期1回の部活動顧問会
8	教職員の指導力向上	教職員の指導力向上のために「確認して みましょう あなたの人権感覚」（人権 教育プログラム）などの活用	各学期1回